

## ■ 医療を受ける際の配慮や工夫 障がい者が「困ったこと」「あったらいいな」と思う配慮や工夫

### ① バリアフリーに関すること

バリアフリーでない所では受診できないので、バリアフリー化を進めて欲しい。	肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障がい
病院のトイレ内で、非常ボタンと水を流すボタンの区別がつくようにして欲しい。	盲ろう
カウンターが高いので、手続きの際に困る。	肢体不自由
病院の入り口が狭くて入れない。	肢体不自由
診察室に物を置かれると、転倒すると大ケガの元になり危ないので配慮して欲しい。	肢体不自由
診療所や医院はスリッパが多いので履きづらい。	肢体不自由

### ② コミュニケーション、案内、情報提供に関すること

全ての医療施設で情報保障をお願いしたい。	聴覚障がい
丁寧な筆談をお願いしたい。	聴覚障がい
障がい者であることが分かる首にぶら下げる顔写真付きの「筆談お願い」の札があれば医者、看護師、受付で筆談してくれてスムーズにいくと思われる。	聴覚障がい
声がよく聞こえるように、マスクを外して話して欲しい。	視覚障がい
口話を読み取れるように、マスクを外して話して欲しい。	聴覚障がい、盲ろう
病院にも手話ができる医師や看護師がいて欲しい。	聴覚障がい、盲ろう
手話通訳の配置をお願いしたい。	聴覚障がい、盲ろう
通訳者がきっちりと通訳できるように、わかりやすい日本語に噛み砕いて欲しい。	聴覚障がい、盲ろう
検査結果とかデーターにして渡して欲しい。また、拡大鏡を置いて欲しい。	盲ろう
1人で受診した場合には、診療の内容、治療方法や投薬の内容等を詳しく書いたものを持ち帰らせて欲しい。入院の際、詳しい病状や退院の目安の説明がなかったので不安だった。	知的障がい、肢体不自由
病院には「耳マーク」の設置を促進して欲しい。	聴覚障がい
カルテに耳が悪い事を書いて看護婦さんにも伝えて受付にも伝えて欲しい。	聴覚障がい
院内での呼び出しを、掲示板だけではなく音声など視覚障がいに配慮した方法で行って欲しい。	視覚障がい
院内での呼び出しを、音声だけでなく電光掲示板など聴覚障がいに配慮した方法で行って欲しい。	聴覚障がい、盲ろう
会計の時の名前点呼がわかるように配慮して欲しい。	聴覚障がい
大学病院で渡されるPHSは表示がわからず困るので配慮して欲しい。	視覚障がい

受診に係る各質問事項は記入が多いので、問いかけをして記入してもらえると助かる。	視覚障がい
事前説明をする時、絵カードやボードを利用して本人が何をされるのかわからずパニックなどを起こさないよう配慮して欲しい。	知的障がい
受診の時、事前の細かい情報が欲しい。	音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由
検査を受けるときの指示や説明が聞こえないので工夫して欲しい。	聴覚障がい、盲ろう
医師による説明を詳しくして欲しい。	視覚障がい、知的障がい、盲ろう
パソコン画面を言葉で説明して欲しい。	視覚障がい、知的障がい、盲ろう
はっきり、わかりやすく、大きな声で説明や案内をして欲しい。	視覚障がい
歯医者において「口を開けて」「口を閉じて」「右」「左」など合図を決めて欲しい。	音声・言語・そしゃく機能障がい、盲ろう
重度障がい者(ジストニア)を既往しているので、通所リハビリ施設等、リハビリが受けられる場所の情報が欲しい。	肢体不自由、精神障がい
歯科治療で、痛くないよう治療して欲しい。強引にされると困る。	肢体不自由・知的障がい

③ その他

大きい病院では移動が大変なので誘導して欲しい。視覚障がい者には手引きや声かけが欲しい。	視覚障がい、盲ろう、肢体不自由
障がい者専用の対応窓口が欲しい。	聴覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由
手引きについては丁寧に行って欲しい。	視覚障がい
赤ちゃんに話すかのような誘導はやめて欲しい。	視覚障がい、肢体不自由
車いすから受診台への移乗が単独ではできないので手伝って欲しい。	肢体不自由
通院・入院時のガイドヘルパーの利用を認めて欲しい。	視覚障がい、肢体不自由
薬の種類や処方がわかる様にして欲しい(点字など)。	視覚障がい
何時になるなど大体の時間を知らせて欲しい。	視覚障がい、聴覚障がい
肺機能検査を受ける時、喉頭摘出者に適した検査結果が無い為、正確なデータが得られないばかりか不衛生。是非工夫が欲しい。	音声・言語・そしゃく機能障がい
障がいは難しい病気だったり、まれなケースである場合が多いので、専門医の数の拡充をお願いしたい。かかりつけ医でも、障がいの事を分かってもらえるような連携体制をとって欲しい。	肢体不自由、精神障がい
障がいの特性、内容をあまり知らない医師や看護師が多い。	知的障がい
病院は「怖い」「痛い」というイメージがある。	知的障がい

BGMなどが、院内の雰囲気癒すものであれば、助かる。	知的障がい
医者が病気の説明をする時、介助者等の付添人に向かって話すことが多く、話が分からないので配慮して欲しい。	視覚障がい、聴覚障がい、盲ろう、肢体不自由
入院中、字幕付きのテレビや、目で見てわかるラジオが欲しい。	聴覚障がい
電子カルテが導入されて他科の受診状況の閲覧が可能となった。私の診察が終わって待合室に出たら、「この人、精神科にかかっている」と大きな声で医師と看護師が会話しているのが外まで聞こえた。医療現場における個人情報の取扱いに係るモラルや、精神科への偏見をなくしていく研修機会をつくって欲しい。	精神障がい
総合病院で、痔の治療を受けようとしたら、「うちは夜間精神科医がいない」と断られた。昼間、すぐに済む簡単な手術は、通院先の医師と連携をとり、受け入れて欲しい。	精神障がい